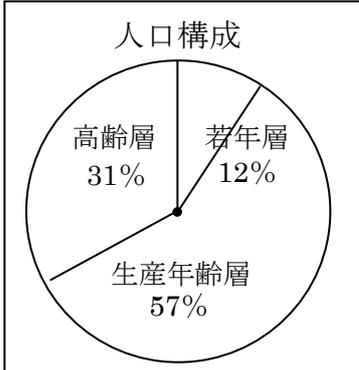


自治会の名称： おすべだい <b>尾萼台自治会</b>	項目	H27/4 月現在	H9/4/30 現在								
	世帯数：	59 戸	56 戸								
	人 口：	171 人	211 人								
自治会長名： 八尋 逸実	原稿記載者： 山中 良彦 連絡電話番号： 0748-42-4340										
自治会発足年月日： 昭和 54 年(1979 年) 4 月 1 日											
<b>自治会の歴史</b> <p>尾萼台自治会は、昭和 54 年に小川行政区から独立し、今年で発足 37 年目を迎えています。</p> <p>発足前後の総出作業といえば五位田川沿いの竹藪清掃から始めたものです。当時の竹藪も今では児童遊園地や駐車場へと様変わりし、自治会の大きな財産となっています。</p> <p>発足から 6 年目の昭和 59 年 11 月 24 日、念願の「尾萼台集会所」が完成し、盛大に竣工式・祝賀会が執り行われ、組対抗の余興合戦では、新築された集会所全体が笑いの渦に包まれました。また、当時は新興住宅ということもあり 30～40 歳前後の住民も多く、スポーツが盛んで町主催のスポーツ大会にも積極的に出場し、今も集会所に多くの輝かしい表彰状が飾られています。</p>											
<b>自治会の特徴</b> <p>ここで生まれ育った子どもたちも成人し、親となり、独立して他の地区に移り住む人も多くなってきており、人口の減少と高齢化は年々進んでいます。</p> <p>そんな状況の中でも嬉しいことがあります。自治会の最大行事である恒例の「夏祭り」に尾萼台を離れた子供たちが家族を連れて里帰りし、会場が人でいっぱい溢れかえることです。ハッピー姿で担ぐ子供みこしが団地内を練り歩き、ゲーム大会や食事会も行われます。夕闇迫ると、赤提灯や子どもたちの作った行燈に灯がともり、多くの模擬店や抽選会場は人だかりとなり、祭りは一層の盛り上がりを見せ、カラオケ大会やビンゴゲームで宴は最高潮に達します。</p>		<b>人口構成</b>  <table border="1"> <caption>人口構成</caption> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高年齢層</td> <td>31%</td> </tr> <tr> <td>若年齢層</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>生産年齢層</td> <td>57%</td> </tr> </tbody> </table>		年齢層	割合	高年齢層	31%	若年齢層	12%	生産年齢層	57%
年齢層	割合										
高年齢層	31%										
若年齢層	12%										
生産年齢層	57%										
<b>自治会の宝物</b> <p>広報紙「ふれあい尾萼台」は、住民相互の親睦を図り、明るいまちづくりと生活環境の向上を目的に昭和 37 年 3 月 10 日に創刊され、今年 7 月で 376 号の発行を迎えています。</p> <p>集会所には「ふれあい尾萼台」を綴った閲覧版があり、33 年余りにわたる自治会の活動模様が紹介されており、私たちの築いてきたまちづくりの歴史を物語っています。</p>											
<b>自治会の将来</b> <p>集会所からは毎日のように卓球の球音が聞こえてきます。自治会主催の「グラウンドゴルフ大会」は年 2 回開催され、「いきいきサロン」では年間を通して様々な行事が組み込まれ、楽しいひと時を過ごしています。高齢化が進展するにつれて「少し日向ぼっこに行きませんか！」「将棋でも指しましょうか！」などの会話が弾み、集会所が住民の交流の場となることを願っています。</p> <p>これからも、集会所を中心に次世代を担う人々や青少年たちが集い、ふれあいの輪が広がる明るいまちづくりを目指して頑張ってまいります。</p>											